

平成 22 年度総括

保育事業部

事業部長名; 柴木 俊枝・小森 恵美

<事業部使命>

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験や生活経験を重ねながら地域に一員として様々な人々とともに暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園は「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

<特に力を入れたこと>

サンフラワーグループの保育園が始まって10年という節目を迎えました。
また、ひまわり福祉会としては二園の開園準備が進む次年度に向けて大幅な増員と専門性の研鑽が急務とされています。
今日まで各園が精一杯の想いで行ってきた保育を、グループ全体の「ひまわりの保育」として特徴や整合性を明確にする為、私たちが大切にすることをまずは園長会で見直すことから始めました。これを全体の保育内容の標準化へとつなげるべく、「それ(保育場面での行動)は何のために」「保育園の役割」を園長自らの言葉で職員や地域に発信し、私たちの強みを自他共に認めるものとして確立したいと考えました。

<その理由>

23 年度はひまわり福祉会の保育所数が8園となります。近年は、施設が増えることに伴った人材確保と育成、及び、エリア面での施設整備を中心とした展開が主として行われてきました。しかし、保育力の熟成が追いつかない状況も浮上しており、創設者が残した私たちの基本である『保育方針書』を基軸とした子どもの発達・成長を、今一度初心に帰り学び直す必要性を認識しております。子どもや保護者(利用者)にとって、本来の〈安心・安全〉な保育園となるための個人とチームの研鑽も、今年度の重要課題と考え取り組んでまいりました。

<その結果>

今まで当たり前に行ってきたことを今一度(私たちが大切にしていること)として問いかけ話しあうことで、「私たちが今やるべき事」「必要な力」を事業部課題として標準化に向けての第一歩がスタートしました。標準化を進めると同時に、次年度の園長異動にあたり各園の違いや特色を改めて考える事で〈私たちの目指すよい保育園〉のための課題が明確になった一年でした。
次年度は、課題の1つでもある〈発達にあわせた保育力の向上〉をし、「ひまわりの保育」を構築してまいります。